

# 令和3年度 野火止保育園 事業計画

## ● 基本方針

- 子ども一人ひとりの人権や主体性を大切にし、こころ豊かに生きる力を育む。
- 子ども一人ひとりの最善の幸福のために、家庭や地域社会と手を携え子どもの健やかな成長を支える。

## ● 運営方針

- (1) 子ども自ら伸びる力を大切にし、保育指針に則った保育の実践
- (2) 子ども一人ひとりの発達を正しく捉え、個々の成長に応じた多様性のあるプログラムを実施する。
- (3) 地域や関係機関と連携し、子どもの育ちや学びの連続性を大切にする。
- (4) 利用者家族及び地域の子育て家庭を、関係機関と連携を図りながら支援する。

## ● 運営目標

### I 利用者に対する基本姿勢

#### 1 利用者の自己決定と選択を尊重し、個人の尊厳に配慮した安心・安全なサービスの提供

- ① 経営理念等における明確化
  - ・子どもの人権を尊重し、虐待を根絶する姿勢を積極的に配信する。
- ② 苦情解決・相談体制の整備
  - ・相談体制を整備し、保護者等からの苦情に対して誠意を持って対応する。

#### 2 良質かつ適切に福祉サービスを提供するとともに、質の向上に向けた体制の構築

- ① サービス提供方針の明確化
  - ・事業所内会議のシステム化を図る（職員会議、保育会議、調整会議パート職会議等）
- ② 職員の教育・研修の充実
  - ・園内研修の充実を図りながら、法人内他事業と連携し研修の機会を設ける。
- ③ サービスの自己点検と改善
  - ・職員からの提案に基づく業務改善の仕組みを作る。
- ④ 第三者による評価の受審
  - ・第三者評価を受審し、評価結果に基づきサービスの改善に取り組む。
- ⑤ リスクマネジメント体制の構築
  - ・リスクマネジメントに関するマニュアルについて、見直しと周知を図る。

#### 3 地域等との関係性を重視した利用者生活の支援

- ① 地域での生活を重視したサービス方針の確立
  - ・町内会や市関係機関を中心とした地域交流の推進
- ② 家族等に対する支援
  - ・育児の悩み等に対する相談体制を整える・
- ③ ボランティアの育成と活動支援
  - ・ボランティアについて、導入を図るための計画を立案する。
- ④ 地域の社会資源の活用
  - ・相談支援事業所・就学先との情報共有と連携

#### 4 良質かつ安心・安全なサービスを提供するための生活環境・利用環境の整備

- ① 災害時の事業継続計画（BCP）の整備
  - ・災害時等の事業運営について、施設長を含めた職員間で共通認識を図る。
- ② 感染症対策の強化
  - ・感染症の予防・拡大防止のためのマニュアルに基づく、具体的な予防対策を徹底する。

- ③ 利用者が楽しみを感じられる日々の活動の提供
  - ・子どもが達成感を日々味わえる保育活動を提供する。
  - ・新しい生活様式にそった行事を含めた保育計画を検討し、提供する。

## II 社会に対する基本姿勢

- 5 地域の信頼を得るため、情報発信として“見える化”“見せる化”の推進
  - ① 情報管理の徹底
    - ・SNS等の普及を踏まえた適切な情報管理について、必要な注意喚起を行う。

## III 福祉人材に対する基本姿勢

- 6 目指す法人経営を実現するため、トータルな人材マネジメントの推進
  - ① 経営理念の明示、周知徹底
    - ・「経営理念」に示された価値観、存在意義等を、職員の共通目的として周知を図る。
  - ② 期待する職員像の明確化
    - ・「期待する職員像」の浸透を図り、方向性の共有化を図る。
  - ③ 業務の標準化と統一した業務行動
    - ・整備された業務マニュアルについて、標準化・共有化の視点で見直す。
  - ④ 横断的な連携の推進
    - ・法人内の他部署との連携、協働により、付加価値を高める活動を検討する。
- 7 福祉人材の確保に向けた、福祉を啓発するための情報発信・福祉教育への取り組み
  - ① 福祉人材の確保
    - ・職業体験等を実施する小中高校と連携して体験学習等を行う。
    - ・保育課程を有する大学等と連携し、見学会等を実施する。
- 8 職員処遇の向上、働き甲斐のある職場づくり、働きやすい職場環境の推進
  - ① 福祉人材の定着
    - ・経験の浅い職員に対しては計画的に研修等の機会を設定する。

## IV マネジメントに対する基本姿勢

- 9 公益性の高い事業活動の推進および信頼性の高い効果的な経営
  - ① コスト意識の醸成
    - ・物品購入にあたり、コストを踏まえた費用対効果を検証する。
- 10 地域の生活課題や福祉ニーズに対する対応と実践
  - ① 経営理念等の明確化
    - ・「法人理念」、事業所の「基本方針」「運営方針」について、周知の機会を設定する。
  - ② 内部環境の分析
    - ・第三者評価を実施し、自事業所の強み弱みの把握に努め、改善する。

### ● 本年度の重点目標

- ・第三者評価を実施し、自事業所の強み弱みの把握に努め、改善する。
- ・災害時等の事業運営について、施設長を含めた職員間で共通認識を図る。
- ・相談支援事業所・就学先との情報共有と連携
- ・職員からの提案に基づく業務改善の仕組みを作る。

5 数値目標

(1) 会議等

会議名	実施目標	対 象	主な目的・内容
職員会議	年12回	職員全員	経営方針、職務分掌、年間・月間行事計画、研修報告、事故・苦情等確認と協議
保育会議	年24回	各部門にて	乳児・幼児、調乳等、担当する園児の態様に応じて提供する保育内容の検討
調整会議	年22回	職員	行事、子育て支援、美化・営繕、広報・交流、研修企画、リスクマネジメント等
パート職員会議	年12回	施設長・主任 パート職員	パート職員への伝達・意見の聴取
給食会議	年12回	施設長・主任・ 栄養士・担任・ 調理部門	献立内容等の確認、食育の推進を含めた食事提供全般に関する確認と協議

(2) 各種調査

調査名	実施目標	対 象	主な目的・内容
嗜好調査	年2回	全園児	献立作成やアレルギー対応などの確認
アンケート	年6回	園児家族	サービス向上のためのアンケート 各行事後のアンケート

(3) 実習生、ボランティアの受け入れ対応

分 類	目標数	対 象	主な目的・内容
インターンシップ	5人	中高大学生	・施設の役割、園児理解等の研修機会 ・施設と園児のよき理解者育成
ボランティア等	3人	学生・一般	・理解啓発 ・園児等とのコミュニケーション
見学者	60人 10人	一般 学生	入園希望者及び一般の見学者、来訪者 保育専攻学生等の見学

(4) 地域貢献・地域交流

分 類	目標数	対 象	主な目的・内容
地域交流等	年3回	関係機関等	地域内事業所、関係機関との交流
地域貢献等	年12回	地域住民等	園庭開放

(5) 研 修（事業所内での研修及び事業者が派遣する外部研修）

研修名	目標数	分 野	主な目的・内容
職員研修	12回	業務	福祉サービス業務、支援実践、発達分野などの技術向上等
防災・避難訓練	12回	防災	感染症、火災、風水害、地震等を想定した実務的な訓練、不審者対策訓練、総合避難訓練等
外部研修	10回	支援	支援に関する研修会及び資格取得に関する講習会等
交流研修	4回	支援	法人内事業所への職員の派遣（スキルアップの向上）
家族研修	2回	制度等	・保育参加、子育て相談等 ・就学先との連携強化と情報収集

(6) 人材育成

資格名	分 野	目 標	主な目的・内容
保育士	制度	1人	資格取得
社会福祉士	制度	1人	資格取得
防火・衛生・安全等	制度	1人	資格取得